

平湯川砂防樹林帯第6号帯工工事における安全対策について

中越興業(株)

平湯川砂防樹林帯第6号帯工工事

工期:平成17年8月13

～平成18年3月10日)

現場代理人 ○出口 康則



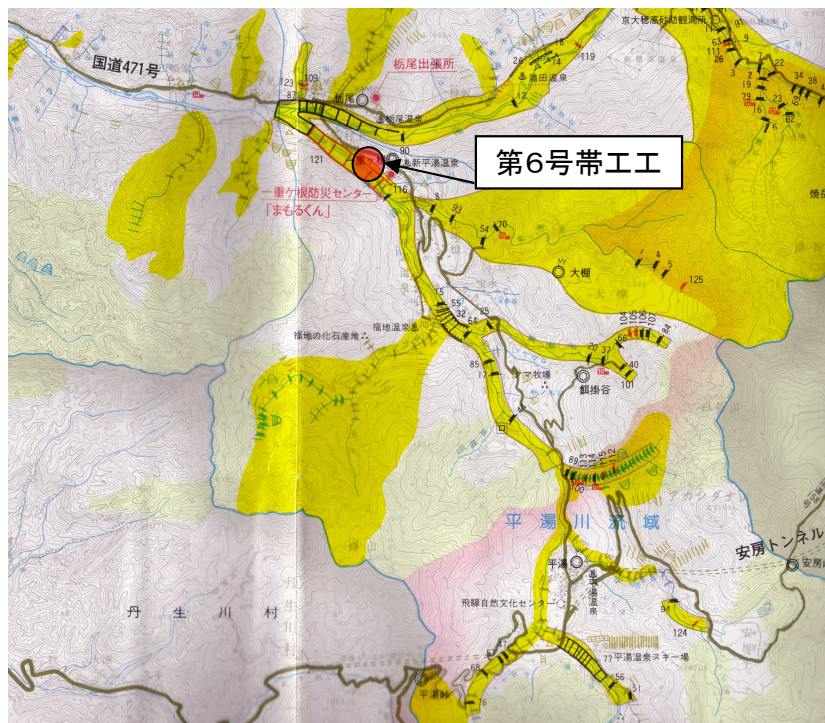
1. はじめに

当現場は、神通川水系平湯川流域において流域の樹林を砂防林として利用するとともに、河川の氾濫時に川岸の浸食、土砂の流出防止を目的とした帯工工事です。

また、平湯川流域には様々な谷が存在し、普段は穏やかに流れていますが、いったん大雨が降ると土石流という災害を引き起こす危険河川でもあります。

本工事では現場にあった安全対策を実施し、作業員が安心して作業できるように心掛けました。

施工箇所位置図



2. 工事概要

第6号帯工 $V=787\text{m}^3$ (新粗石コンクリート 455m^3)

護岸工 471m^2

護床工 352m^2

導流堤護岸工 224m^2

管路敷設工 $L=912\text{m}$

3. 安全対策について

①第3者に対する安全対策

第6号帯工工事の施工箇所において、工事実施期間が冬期ということで工事看板類を設置時にあらかじめ1m程度嵩上げして設置し、現道の除雪作業で看板類が見えないということを解消しました。また嵩上げしたことで、看板類の明示が良好となり、一般車両と工事車両の接触事故の防止にもつながりました。

安全看板類設置状況



②現場での安全対策について

本工事の第6号帯工において、堤底部に新粗石コンクリート(455m^3)の施

工を行いました。

施工計画の段階から鋼製鉄板型枠の作業時に鉄板型枠が倒れる危険性があると考えたので、他の安全発表論文を参考に倒れ止め器具を製作し、現場に設置し作業を行いました。

鋼製鉄板型枠倒れ防止器具



設置状況



実際の作業において、倒れ防止器具を設置し作業を行い、安全に新粗石コンクリートを施工することが出来ました。

また、作業ヤード内において、粗石及び巨石をストックしておく必要があったので、資材ヤードの明示と安全表示を両立するため、単管バリケードにトリカル

ネットを張り、現場に設置しました。

トリカルネットの色を緑色のものを使用した結果、雪が降ったときでもヤードの表示ができ、重さも結構軽いので移動作業を簡単に行えました。

バリケード設置状況



使用状況



4. おわりに

当工事現場は、現在も施工中であります。厳しい寒さの中、まだ春が訪れるような気配はありませんが、現場職員・作業員全員で危険の芽を無くし、アイデアを出し合いながら現場の改善を日々行い、より一層の安全管理・安全作業に取り組み、無事故・無災害で工事を完成させたいと思います。